

金印株式会社（愛知県 名古屋市）

農業参入事例



企業概要

金印アグリ株式会社【農地所有適格法人】（北海道 網走市）

- 事業内容：加工わさびの原料及びその他農産物の栽培、新品種開発など
- 資本金：2,000万円
- 従業員数：10名（2023年10月現在）
- 営農開始：2014年5月～

金印株式会社【持株会社】

- 事業内容：加工わさびなど食品の製造・販売
- 資本金：1億円
- 従業員数：226名（グループ連結：2023年10月現在）

栽培概要

作物等	規模等	備考
西洋わさび	約130ha	・主に契約栽培 ・一部作業に従事
本わさび	約1ha	・主に契約栽培
西洋わさび苗・本わさび苗	ガラス温室 3棟	・契約栽培農家への供給のために生産
ブルーローズ	3a	・所有農地にて栽培 ・有効成分原料
かぼちゃ	11ha	・網走市との連携により、遊休農地を借り受けて栽培

北海道への参入経過

- 1965年 西洋わさびの契約栽培生産地を長野県から、原産地の欧州に気候が似ている北海道へ
- 1968年 原料乾燥工場、1994年 最終製品工場を北海道に建設
- 2014年4月 西洋わさびの栽培のため、農地取得
金印アグリ（株）を設立
- 2019年 かぼちゃ栽培、ブルーローズ本格栽培を開始
- 2022年 網走市と連携し、未活用だった網走刑務所の公用地でかぼちゃを栽培。
受刑者の再犯防止や地域活性化などに貢献。

北海道で農業を行うメリット

- 広大な農地と様々な作物に適した気象条件が備わっている。
- 効率的かつ持続的な農業が実施可能。
- 「北海道」は国内・海外で強いブランド力があり、今後農業分野で世界へ展開しやすい。
- 産地直結工場を有しており、劣化の早い作物（かぼちゃ）でも、手作業でなく機械収穫を実現できる可能性がある。



今後の展開やビジョン

- 品種開発、苗生産、栽培などの技術や設備を活かし、農業における様々な課題を解決し、今後の農業発展に貢献
- 北海道に拠点を有する強みを活かして様々なビジネスを展開し、世界の食文化の向上と健康作りに貢献



◀ブルーローズ

スパイスで世界地図を表現▶